

令和5年度 第4回学校運営協議会議事録

令和6年3月9日14時40分より、本校視聴覚室において第4回運営協議会を開催した。

I 出席者 学校運営協議会委員 9名（欠席1名） 本校教職員 23名

II 【議事録】

1 校長より

本日は第4回学校運営協議会にお越しいただき、まことにありがとうございます。学校を代表してお礼申し上げます。

先日、卒業式が無事終了しました。

全日制159名、定時制44名、通信制66名が卒業していきました。

それぞれ新しい進路に向けて飛び立っていきました。どの課程もなごやかで温かい卒業式でした。

書道を選択している生徒と書道部の生徒の作品が、4階ホワイエに展示してあります。卒業生の作品をいくつかご紹介させていただくと、「働くぞ」、「御飯食べるために働く幸せ感じたい」といったものがございます。また、「この3年間すごく濃かった、一瞬で終わってしまった」というようなものもありました。

是非、お帰りの際にお目を通してください。

さて、4月からの新しい生徒を迎えるということで、2月、3月にかけて入学者選抜が行われましたし、これからまた行われていくところです。

三課程とも、昨年度・一昨年度を上回る志願者が集まりました。

この結果は私達の厚木清南高校の教育活動が地域で認められていることの現れではないかと思えます。

全日制は1.19倍、273名志願。定時制・通信制も昨年を上回る志願者数です。定時制は二次募集が行われましたが、例年を上回る志願者数でした。通信制の定通分割選抜も39名、昨年度は20名弱でした。定時制通信制に関しても本校の教育活動に対する理解が深まっている証かなと思えます。

学校としては大きな事件事故もなく終えようとしています。全日制で生徒指導について保護者の方から厳しいご指導を受けたことはありましたが、大きな事故もなく終えられたかと思えます。

資料の10、11ページをご覧ください。次年度からの学校教育目標を大幅に見直しいたしました。なぜ見直したかということ、これは誰にあててのメッセージなのかということからはじまりまして、これは子どもたちへのメッセージであると。中学生、在校生にむけて、厚木清南高校はこういう人間を育てていくんですよというのをやさしい表現で表して、グラデュエーションポリシーなどに反映します。

お時間ありましたらご質問ご意見いただいて、それをさらに反映して県に提出したい。忌憚のないご意見をいただきたいと思えます。

限られたお時間ですが、どうぞよろしく願いいたします。

2 部会報告

生徒支援 定時制教頭

全課程のサポート・ドックについてと、各課程での取り組みをご説明しました。

これまでの取り組みを引き続き実施してほしい、学校行事・生徒会活動のさらなる充実をはかってほしいというご意見を頂戴しました。

キャリア支援 通信制教頭

Temasを活用して三課程の連携を深めたこと、各課程で今年度行ったこと、課題等を説明しました。（上級学校の）オープンキャンパスはいいところしか見せないなので、実際の卒業作品展など見ることで意欲も高まるし、3月は進路活動のチャンスではないか。また、まだ進路が決まっていない人たちへのフォローが大切であるというお話をいただきました。

本校は自分のペースで学ぶことができるということもあるが、進路に関しては（社会のスケジュールに）合わせなくてはいけないので、その辺りの擦り合わせをしながら進めていきたいというご意見をいただきました。

授業開発 全日制教頭

ICT活用の取り組み、3課程の一斉授業研究会の取り組みについて報告しました。

ICT活用の成果は出ているが、全面的に活用するだけでなく、従来のアナログ的なものにも長所がある。あらたなICT活用を模索してはどうかという話し合いがもたれました。

授業研修会が非常に良い形でできたが、研修の意義や時間の確保には課題がある。より一層よいものにするために模索していくとの話がありました。

3 学校目標 実施結果

(1) 全日制 学校管理運営GL

- 1 三課程で柔軟で多様な学びのシステムが課題。さまざまな課題を抱える生徒が多い中で、把握・共有して特色を生かした対応の仕方を協議してきた。
- 2 授業研究に関しては合同授業研究会を実施した。
- 3 生徒指導についてもサポート・ドックを開始し、より生徒の状況が把握できた。SC、SSWに繋げていきたい。
- 4 スポーツ大会、SEINAN祭、クリーンウォークはコロナ前の形に戻せた。地域連携クリーンウォークや情報発信、防災訓練は各課程それぞれと合同を実施した。

(2) 定時制 学校管理運営GL

- 1 アンケート実施、課程間併修などについて具体的に協議した。今後も生徒の多様な課題に対応するため、柔軟な学びのシステムの活用方法を検討していく。合同授業研究会を実施した。持続可能な取り組みの検討が必要。
- 2 クラスユナイテッド（2クラス合同で学級経営）には前向きな意見が多かった。1年次の長欠生徒が減っている。成果は出ているかと思う。引き続き安心して登校できる環境づくりを目指す。

多くの行事で生徒会本部役員が関わられた。数年前より生徒が前に立って学校行事で司会をしたり前で話したりしている。

- 3 Teamsの活用で情報共有はできた。卒業生の就職というところから、一段レベルがあがった課題・改善方策となっている。今後は、卒業後、働き続けていけるような指導していきたい。

インターンシップなど活発に取り組んでいるので、より促していきたい。

- 4 これから芸術鑑賞会、クリーンウォークがある。引き続き地域の方との情報を共有しつつ実施したい。HPについては今後も本校の魅力について伝わるよう、学校活動の発信を行いたい。

- 5 危機管理マニュアルを整理し、1つにまとめた。それをどういうふうに運用するかは今後の課題。継続して課題とさせていただきたい。

ICT機器は十分充実しているが、さらなる充実と継続が課題。

グループの改変を行った。6チームにわけてその2チームが一つとなってグループとなる改編。次年度は改編した組織での実務となるが、どの様に効率的に運用するかは次年度の課題。

(3) 通信制 学校運営管理GL

- 1 在籍10年を超える生徒が複数名卒業した。新課程旧課程の移行が大変だがうまくできている。Classroomを活用することによって、質問がきたり、教科指導の動画をアップしたりしている。

- 2 研修旅行が復活した。野外活動への参加する生徒数が増えている。事後アンケートで、満足度が高い。学校への登校意欲につながっている。

- 3 進路指導。従来は5月に面談だったが、11月を面談月間して保護者との連携をより密にした。効果があった。

- 4 避難所運営委員会マニュアルについては進展がない。今後もつづける。

- 5 学校紹介の動画を10本ほど、画像も投稿している。YOUTUBEライブを使った学校説明会もおこなった。地域に対して発信力があがったのではないか。

- 6 危機管理マニュアルを定時制中心に作成した。

Teams内のグループチャットの情報交換も活発になってきている。三課程内の共有ができている。

4 指導助言

(1) 教育課程・学習指導について

○委員

学習指導の分科会で協議させていただいた。

昨年、今年と2年間継続して変容のご報告を受けていましたが、三課程の先生方がまず協働で進めていこうという意欲や取り組みについての真摯な姿勢、課程ごとに工夫をされていて、昨年度よりいろんなことがステップアップしたということを実感しています。

厚木清南ならではの三課程の発信、共有できる強みというのを今後も生かしていただきたいし、バックアップして応援していきたいと思っています。

本当に素晴らしい取り組みを進めていただいたと思っております。

S委員

仕事の関係で小平市の第三小学校のコミュニティ・スクールに参加している。ICT教育の推進校で、今年の結果を発表していました。学芸大学と連携しながら、タブレットをつかった授業を展開しています。

発表の中ですごくいいなと思ったのが、タブレットで教科書を読むとき、漢字の読み書きが苦手な子にはふりがなを振るという項目で、その子にだけふりがなを振る。LDの子で黒と白バックの色を変えられる、教科書の文字を変えられる、国語じゃなくて社会でもふりがなを振れる。一斉教育で能力が発揮できなかったハンディに対して、タブレットの利用によってフォローの質があがってきていると思います。

厚木清南高校でも、いろいろなバックグラウンドをかかえた生徒の参加する一斉授業で、その子にあった教科書の色、文字、言語の使い方など利用していったら、更にそれで子どもたちの教育水準があがっていき、そういう取り組みを知ったなら自分の能力を発揮できるかなと、厚木清南を志望してくれるのではと思いました。

A教諭

ルビや色、というのが初めて知ったので、のちほどどんなソフトを使うのかななどお聞きできれば幸いです。

(2) 生徒指導・支援

K委員

今年はコロナウイルスの影響が収まったからこそできた、肯定的な言葉が出てよかった。定時制ではクラスユニテッドの運用で、長欠の生徒数が少なくなったということで、学校に来ることによって安心感ができるということは本当に大切だと思う。せっかく来ているところで、勉強が分からなくても先生に会える安心感、友達に会える安心感というのでできるのは良いことだと感じた。

通信制行事に参加することで自己肯定感が高められるというのも、通信制の生徒の特徴から、自分から行動することは難しいと思うのですが、カフェブランジュで行事の話をしている生徒もいた。学校を楽しんでいる姿を見ることができた。すごくいいなと思いました。

T委員

部会の方でも出たのですが、近年生徒の状況、一人ひとりがかかなり変化していると。定時制では昔はやんちゃな子がいたが、近年はコミュニケーションが苦手、大人しくて真面目だけど自己表現がなかなかできないとか、自己決定がなかなかできない生徒が増えていたり、生徒一人ひとりにあった支援の仕方というのが難しくなっていると思う。

一つはサポート・ドックというのが始まって、今までやっていた情報共有や個々の対応と上手に併用して積極的に生徒に関わっていらっしゃることがわかって印象的でした。チャットを使用したり、SSWとの情報共有など、今後の課題になってくると思うのですが、外部機関との連携など、広く生徒支援をするのが求められていると思うのですが、その先駆けとして非常に良い取組をしている。定時制では3卒の割合が高くなっている。外国につながる生徒の3卒率は50パーセントをこえている。そのような成果も見えるかなと。

行事の組み立てで、遠足ができたとお聞きしたが、今年はさらに定着していて、定時制で生徒が主体的に行事に取り組むことができたと書いてあるのですが、あたえられるものではなく生徒自身が組み立てていく、そういう中での成功体験など感じました。

S委員

生徒支援のいじめアンケート実施とかいてありますが、これって生徒にとるんですよね。アンケートをとっていじめがわかるというのはあるのかなと気になりました。

K総括教諭

いじめアンケートは、直接的なものがでることもありますが、嫌な思いをした、というのが出てくることがある。そういう生徒は呼んで話を聞く。聞き取りをおこなっていくこともあります。いじめの状況を把握するきっかけになるものだと思います。

(3) 進路指導支援

U委員

キャリア支援の部会に参加させていただいて、去年から今年にかけて、三課程の協力体制がしっかりして、生徒も三課程で見てくださっているなど、今年1年お話をさせていただいたり資料を見させていただいたりして感じて、ありがたいなと感謝の思いでいっぱいになりました。

生徒個々の特色というのは今後もっともっと顕著になってくると思いますし、ここ20年くらいでICT関係の進化が凄すぎる、その中で育ってきた子どもたちということで、指導の部分もどんどん変わってくると思うので、いろんな生徒、保護者も一緒に色んな情報を取り入れて学んで、子どもたちの進路で学んで協議して、子どもたちが笑顔で卒業していってもらえるような体制になっていけばと思います。

S委員

部会でも話しましたが、2、3月に専門学校の卒業制作展というものがあって、生徒たちがどういう学びができるか知って進路支援につながってほしい。

資金面の心配、進路と家庭の経済状況というので悩まれている方もたくさんいるのかなと思いました。どういった資金計画が考えられるか、こういう学校だったら奨学金がある、というような情報を協議会も協力しながらそれによって自分の夢の実現ができるようなサポートができればと思いました。

(4) 地域との協同、学校管理学校運営について

M委員

岡田団地についてです。団地も年寄が多くて保守的になっちゃってるんですね。生徒さんたちがお昼休みベンチに座って飲食したり騒いだりしているのを随分気にしている。最近では、騒いでいる様子は殆ど少なくなりました。先生方のおかげだと思っています。

私達も気を付けてつけていますが、今後ともよろしく願いいたします。

U委員

岡田団地の方のお話にもあったのですが、私が住んでいるマンションもお年寄りの方が多くて、小学校の通学路になっているので、うるさいと衝突があったりする。

今の子供達って、仮想体験は多いが実際にものをつくるというような機会、子供会も無くなっていたり、学校もPTAが少なくて行事を減らして、親が働いているので一緒に何かをする機会が減っちゃっている。

逆に地域の方から昭和の遊びだったり、そういうのを習う、教わる、見る機会というのをいただくのも共生の一つなのかなと思います。

中学校の先生とお話する機会があり、絵しりとりをするだけで子供がすごく喜んだと。竹とんぼを見せたら子どもたちが大興奮だったという話を聞いて、昔の普通のものが、今の子達にはすごく新鮮で、感覚を変えるきっかけになったりすると思うので、地元との協力はもっともっとあってほしいかなと思いました。

副校長

次年度の教育活動に生かしていきたいと思います。

5 グランドデザインについて

校長から話がありましたが、来年度から4年間のグランドデザインを作っていくという作業をしています。スクールミッション、スクールポリシーは示したとおりですが、学校教育目標という形で三課程共通で設定させていただきました。

今日皆さんにお示しして、ご意見等をいただいた上で、各課程の目標・主な方策を設定し、県に提出して実践していきたいと思っています。

〇委員

本校も先週学校運営協議会があり、学校教育目標やグランドデザインの承認をいただいたところです。

補足理由にあるように、わかりやすいというところに特化して表現なども見直したという校長のお話しもありますが、「どの子にも伝わりやすい、PTAの皆様にも伝わりやすい」という見直しをされたということで、指示していきたいなと思っています。

6 講評

S委員

学校目標に関して、授業の部会で、定時制の高橋先生から、楽しくわかりやすい授業ということである議論されたとのことで、すでに取り組んでいらっしゃる。

楽しいってすごくいいなと思います。

学び続けるというの、広い意味での進路というか、自分らしい生き方に向かって学び続けるということ。近い目標に向けて学ぶのも大事なのですが、高校にいる間にそういう学び方ができるのはすごくいいなと思います。

課程が違う中で時間調整して集まって、いろいろな立場の違う方が集まって議論する面白さと難しさ両方あると、伺っていて思いました。

委員の先生からも、褒め合う、ねぎらいあって、面白みがあって、お互いのこだわりポイントをやって、刺激し合いながらという場を既につくっていらっしゃるのだなと思いましたし、今日の先生方のお話から更に発展していかれるのだなと感じました。

昨年授業も見させていただき議論に参加させていただきました。

定時制の家庭科の先生が、安心して失敗できるという機会を授業でつくっているんです。失敗しすぎないようにしますが失敗の機会を奪わない、と話をされたことに、すごく感銘を受けました。私は大学に戻ってすぐ、教職の授業で学生たちにこの話をしました。そういった授業、生徒指導、生徒支援のことが絡み合っているんだなと。

大人の見守りの中で良い意味での失敗もしながら成長する。

授業と生徒指導の両輪となって生徒を育てていらっしゃるということをお日の方のご報告から感じました。行事も徐々にできるようになっているのがいいことだと思いました。友達ともぶつかりながら失敗しながらという過程がすごく大事で、そういう機会が戻り、より良いものをつくっているというのがすごくいいことだと思います。

この3月で2020年入学の生徒が卒業する。全面オンラインの学生で、心配したのですが、その下の年代のほうが、皆の前でやりますというような自信がなかったり、なかなか前にでてこれない。すごく大変な環境の中を生き抜いてきたのだなと思います。

また行事を始めているということで、とても大事で貴重な取り組みでありがたいと思います。今の若い人たちがどんなことを楽しんで苦労しているかということをも一緒に議論していければと思います。

7 閉会